

青壮年を中心とする皆様からの主な提言等と市側の回答要旨

提言等の項目	H29夏開催の「市長と語る会」	
	皆様からいただいた主な提言等	その際の回答要旨
①政策のPR	市民が政策を分かりやすく見ることができるよう、市ホームページや広報誌等に掲載してはどうか。その際は見やすく、分かりやすい工夫をしてほしい。 また、市ホームページの閲覧者数はどのくらいか。滑川市青年会議所のホームページ閲覧者を増やす方法についてアドバイスいただきたい。	政策については、市民の皆様が目に見える、かたちに見えるものを行ってきており、おおむね良い反応をいただいていると認識しています。 なお、市ホームページや広報誌には市の政策等を掲載しているほか、見やすく分かりやすいよう工夫しているところです。ホームページの閲覧者数については今、数字を持ち合わせていませんが、閲覧者数を増やす方策について、お互い情報交換をしていきたいと考えています。
②児童館の駐車場	天気が悪い日は児童館の来館者が多く、駐車場が空いていないことがあるが、拡張予定はあるのか。	児童館の駐車場拡張については、今年度、用地を取得し、来年度から整備予定としており、併せてビオトープや遊具の設置を3箇年計画で行う予定です。
③堀江自然ふれあい広場	運動公園の堀江自然ふれあい広場は近々完成すると聞いているが、ランバイク用のスペースや遊具の設置を検討いただけないか。	運動公園の堀江自然ふれあい広場は、地域の方のご意見等を反映した計画に基づき、中央に多目的広場を配置し、ミニサッカーや地域の運動会ができるよう整備したほか、パークゴルフの練習場や食育のための果樹園等もあり、ランバイク用のスペースはこれから確保することは難しいですが、今後整備予定のアスファルト舗装の駐車場や園路の一時使用ができると思われれます。 遊具の設置については前向きに検討します。
④観光遊覧船	滑川のホタルイカはブランド力があり、市観光遊覧船の運航再開時は、そのブランドイメージを崩さないよう細心の注意を払っていただきたい。 また、富山湾岸クルージングやほたるいかに海上観光だけでなく、スキューバダイビングでの活用等、市観光遊覧船の利用頻度を増やす取り組みと、積極的なPRを行ってほしい。	市観光遊覧船のさらなる利活用については、ご提言のほか、魚釣り、花火大会やヨットレースの観覧等が考えられますが、使用目的が変わると船の許可の問題が出る場合がありますので、そのことも踏まえ検討します。 市観光遊覧船のPRについては、運航再開の際には積極的に行いたいと考えています。
⑤中滑川駅前	中滑川駅前の再開発について、昨年度、「市民の意見を聞いたうえで方向性を決める」と聞いていたが、市として、現段階でどのような考えを持っているのか。	中滑川駅前の利活用について、この度、地元町内会へ意見交換に回りました。現在、いただいたご意見等を精査中であり、まとめ次第、次の段階へ進みたいと考えています。また、商工会議所でも検討会を開いたと聞いていますので、そこで出されたご意見も取り入れたいと考えています。
⑥サイレン	消防分団のサイレンについて、現在手動で鳴らすことになっているが、いざ火事が起こった際に手動で動かしている時間は無い。なるべく早く自動的に鳴るようにしてほしい。	消防のサイレンがデジタル化されたことにより、消防本部は遠隔操作で、分団は手動で鳴らしていただいているところですが、もう3年ほどで防災行政無線がデジタル化する予定であり、それに伴い分団も遠隔操作で鳴らせるようになります。現在、デジタル化に向け進めているところですので、もう少しお待ちください。
⑦児童館の対応	児童館に初めて行った際、受付の所に職員がおらず、どのようにすれば良いか分からなかった。また、職員が事務室におり、館内の子ども達の様子を見ていないように感じられた。	ご不快な思いをされたことについて、お詫び申し上げます。職員は、事務作業もありますが、今後はなるべく館内を見回すように心掛けます。 また、来館者の受け付け等については、速やかに、分かりやすく対応できるようにしたいと思います。

青壮年を中心とする皆様からの主な提言等と市側の回答要旨

提言等の項目	H29夏開催の「市長と語る会」	
	皆様からいただいた主な提言等	その際の回答要旨
⑧練習・合宿地	スポーツ・健康の森公園とその周辺について、2020年開催の東京オリンピックの練習・合宿地とする考えはないか。選手の積極的な受け入れを検討いただきたい。	全国各所が受け入れに手を挙げていること、また、実際に誘致するとなると、地方創生に結び付くということで国の多数の省庁が細かく調査をするため、ハードルが非常に高いです。 また、実際に受け入れた場合は選手への対応や費用負担など、地元の負担も大きくなると聞いています。 なお、東京オリンピックに限らず、相手側から合宿等について声を掛けていただくことがあれば、いつでも受け入れたいと考えています。
⑨市議会議員選挙	今年の11月に市議会議員選挙があるが、定員削減や報酬の増額などの議会改革について、市はどう考えているか。 また、若い人が立候補しやすい方策を考えてほしい。	議会改革は全国的な課題であると認識しており、また、議員からの提案による事業採択数の増加等、議員の資質向上も必要なものと考えています。
⑩保育料	第2子以上の子どもを生むことができる家庭は比較的裕福であり、本格的な少子化対策をするのであれば、弱い立場の人から救済すべきで、親の所得制限を設けるべきでは。また、第1子の保育料を無料としてはどうか。	市の第2子保育料無料化の考えは、滑川市の子どもは全て市の将来を担う大切な財産であり、親の所得で差別はしないというものです。 この施策も含め、市の少子化対策は一步前に進んでおり、効果は出てきているものと考えています。 また、少子化対策については試算や将来予測は難しいものと考えており、今できることを精一杯実施していきます。
⑪保育料2	1人目の子どもから保育料を無料化すれば、より子どもが増えるのでは。	第1子の保育料無料化については、市の財源の問題があるため、これからの検討課題とさせていただきます。
⑫給食の食べ残し	市の給食残食率は低いとのことだが、子どもが残したものを他の子どもに食べさせるケースがあると聞いたことがあり、残食率の数字を良くするために子どもがづらい思いをしないよう、暖かく見守ってほしい。	実際の学校給食での食事風景は、市としてよく確認しています。食べられない子どもは食べる前に戻しており、残したものを他の子どもに食べさせることは無いものと認識しています。
⑬空き家の利活用	空き家の活用には、民間資本の調達や、都市計画との兼ね合い、関係者の情報共有が必要だと考える。市には「空き家・空き地情報バンク」からさらに踏み込んだ施策を行ってほしい。	市としても空き家の利活用は重要な課題だと考えています。「空き家・空き地情報バンク」については、登録をいただければバンクの登録物件情報等を提供しています。また、内容に応じ柔軟な対応をさせていただきますので、まずはご相談ください。
⑭市の予算	配布資料によると、歳出の大勢を占めるのが民生費であり、高齢者に多くの予算が使われているのではないかと。どの世代にどれだけのお金が使われているか分かりやすく示してほしい。	民生費の平成29年度歳出予算(46億7,599千円)のなかで一番支出が多いのは児童福祉費であり、次いで老人福祉費となっています。なお、高齢者については特別会計が別であり、後期高齢者医療事業、介護保険事業(合わせて約38億円)の支出があります。

青壮年を中心とする皆様からの主な提言等と市側の回答要旨

提言等の項目	H29夏開催の「市長と語る会」	
	皆様からいただいた主な提言等	その際の回答要旨
⑮ 民生費	民生費の増加に対し、市として対策は考えているか。	市は健康寿命の延伸を目指しており、市民の皆様の寿命と健康寿命の差は、国が発表する数値と直接の比較はできませんが、少ないものと考えています。しかし、国民健康保険事業の支出は増えており、その原因の分析は難しく、一概に数字だけの比較は難しいです。
⑯ 民間事業者の活性化	ホタルイカ等の急速冷凍や天日製塩について、市が主体ではなく、民間に引き渡すことにより、民間事業者の活性化やビジネスチャンスに繋がると考える。	急速冷凍や天日製塩のほか、深層水トマトについても、今後は民間の方に主体となっていただきたいので、今後ともご意見等をお聞かせください。